



長須西部地域資源保全協議会(坂東市)が、 「田んぼの生き物調査」を実施しました。

西総土地改良区管内(坂東市長須)の長須西部地域資源保全協議会は、農地・水保全管理支払交付金を活用して農村環境に対する理解・興味の促進や、水路等での事故防止の啓発を目的として、地元小学生を対象とした「田んぼの生き物調査」を平成19年度より実施しています。

今年度は長須小学校4年生の児童42名を招待して、水質調査と生き物の調査を行いました。生き物に関する指導は茨城県自然博物館の協力を得ているほか、安全確保のため地元消防団やPTAの協力を得て行われました。県西農林事務所土地改良部門及び境土地改良事務所も広報活動の一環として協力しました。

調査内容は、水質調査は専用の簡易キットを用いて排水路の水を調べ、pHは約7、CODは水質としてやや汚れていることが分かりました。生き物の調査は、カゴ網やタモ網を使って排水路内の生き物を採取し、種類や大きさの記録を行いました。水路内に仕掛けたカゴ網を引き上げてみると、メダカやフナなどたくさんの魚が入っており、子供達の歓声が上がっていました。魚以外にも、ザリガニやオタマジャクシなど多くの生き物が生息していることが確認できました。

調査に参加した子供達からは、
「知らない生き物がたくさん見られて楽しかった」
「水路は滑りやすく、大人の方がなぜ危ないと言っているか分かった」
などの声を聞くことができ、有意義なイベントとなりました。



調査前に事故防止の啓発を行いました



水質調査の結果を確認しています



生き物の採取の様子
※調査時は消防団や保護者の方が付き添い、安全を確保しています。



生き物の記録の様子
採取した生き物を観察し、農村環境への興味促進へ繋がります。